

**ISUZU**

# 2013年3月期第2四半期累計決算説明会



**2012年11月7日**

**いすゞ自動車株式会社**

## 説明内容

### I. 代表取締役社長:細井 行

- ・2013年3月期 第2四半期累計実績及び通期見通し 総括
- ・中期経営計画(2011年4月～2014年3月)進捗状況

### II. 取締役 専務執行役員 企画・財務部門統括:佐々木 敏夫

1. 事業状況
2. 2013年3月期 第2四半期累計実績
3. 2013年3月期 通期見通し

### III. Q&Aセッション

本資料における記述のうち、過去又は現在の事実に関するものを除いては、現時点で入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定及び判断に基づくものです。

従いまして、かかる仮定及び判断に含まれる不確定要素や将来の経済環境の変化などを含む種々の要因によって影響を受ける可能性があり、ゆえに、当社の将来の業績、経営結果等と異なる結果をもたらす可能性があります。

代表取締役社長

President and Representative Director

細井 行

Susumu Hosoi

## '13年3月期 第2四半期累計実績(連結)

- 前年同期比較 -

( 億円 )				<参考>
	'13/3 上期	'12/3 上期	対前年比 増減	'13/3-上期 計画
売上高	7,801	6,581	+1,220	7,900
営業利益	573	438	+135	500
経常利益	604	451	+153	520
当期利益	421	337	+84	350

※為替実績: '13/3-上期 = 80円/\$  
'12/3-上期 = 81円/\$

## '13年3月期 業績見通し(連結)

- 前年同期比較 -

( 億円 )	'13/3期 見通し	'12/3期	対前年比 増減	<参考>
				13/3期 前回計画
売上高	16,300	14,001	+2,299	16,300
営業利益	1,260	974	+286	1,230
経常利益	1,330	1,029	+301	1,270
当期利益	910	913	▲ 3	810

※為替前提: '13年3月期 = 80円/\$  
'12年3月期 = 79円/\$

中期経営計画  
(2011年4月～2014年3月)  
進捗状況

## 中期経営計画骨子

### いすゞ商用車事業の安定化

国内事業の  
安定化

アセアン  
CV事業強化

LCV事業の  
強化・拡大

【日本】  
先進国CV拠点

【インドネシア】  
新興国CV拠点

【タイ】  
LCV拠点

欧州・  
CIS

中近東

アフリカ

低コスト部品/  
開発機能分担

低コスト部品/  
ベース市場拡大

北米

中南米

豪州

【中国(慶鈴)】  
CVサポート拠点

【インド・中国(江鈴)】  
LCVサポート拠点

既存市場での  
安定ポジション確保

サポート拠点の確立

既存市場での  
安定ポジション確保

## LCV事業の強化・拡大 - タイ -

### □ 新型LCVの投入

☑ '11/10 タイ市場で新型ピックアップトラック販売開始

### □ 派生車の投入

### □ 輸出新会社 (IMIT) 設立、グローバル販売強化

☑ '12年 欧州/豪州向け新型ピックアップトラックの輸出開始

### □ 展開市場順次拡大、新規市場開拓

☑ '12/10 ゲートウェイ新工場立上げ、ピックアップトラック生産40万台体制確立

### □ 開発主体の更なる現地自立化



ゲートウェイ新工場

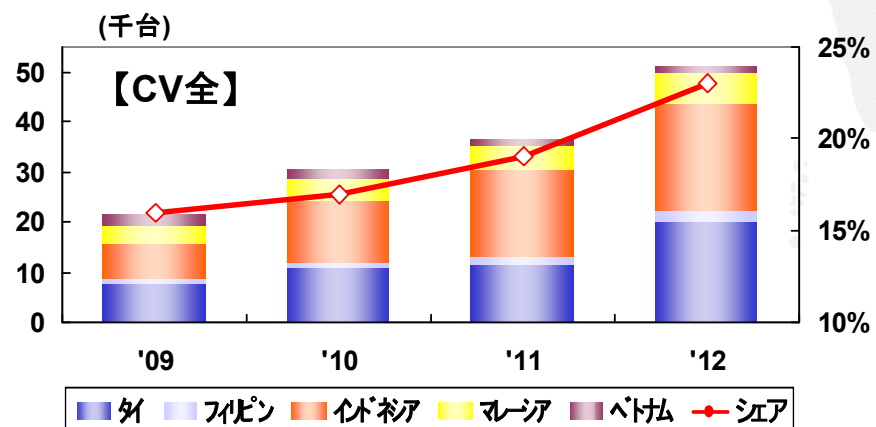


新工場開所式('12/10)



## アセアンCV事業強化

- 新興国向最適商品の投入
  - ☑ インドネシアFシリーズ、ベトナム 途上国QCD車販売開始
- インドネシアを核にしたものづくり機能強化
  - ☑ 開発機能現地化、現地要員増強 ('12/4)
  - ☑ 国産化拡大推進 (協力企業との協業等)
  - ☑ 新工場用地確保
- 現地製造事業マジョリティ化
- セールスネット強化 (部品供給体制、サービス網整備)
  - ☑ インドネシアテクニシャンスクール新設 (現地合併会社内)



## 国内事業の安定化

- ☑ '12/8 大型路線バスERGA HYBRID投入
- 生販事業効率化によるコスト競争力強化
  - ☑ 販売会社広域化 (連結15→6社、'12/4 いすゞ自動車東北)
  - ☑ DB・販社間接業務の集約 ('12/10 車両業務センター機能)
  - コアモジュール生産展開拡大、ラインフレキシブル化 (大小ライン相互補完)
- ライフサイクルビジネスの強化
  - ☑ 保有事業の深耕着手



いすゞ自動車東北株式会社本社



大型路線バスERGA HYBRID

## サポート拠点の確立 - 中国 -

### CV事業

- 大型トラック(HD)/エンジン投入(CVフルライン展開)、HDグローバル競争力強化
  - ☑ ' 12/8 いすゞ慶鈴(重慶)技術開発有限公司設立：次世代HD共同開発
  - ☑ ' 12/8 いすゞ慶鈴(重慶)部品有限公司設立：エンジン/コンポの国産化、輸出拠点化
- コンポーネント製造事業の連結化、産業エンジン含めた販売強化により収益取込、拡大

### LCV事業

- LCV事業の下支えとして、ピックアップトラック・派生車投入
  - ☑ ' 12/8 車両/エンジン生産販売合併会社の設立合意(江鈴汽車協業)
    - ☑ 江西五十鈴汽車有限公司 (車両)
    - ☑ 江西五十鈴発動機有限公司 (エンジン)

## サポート拠点の確立 - インド -

### CV事業

- ☑ '11/7 既存SMLトラックをベースに、いすゞ製コンポ搭載のインド専用商品投入
- SMLいすゞ機能強化
  - ☑ '12/4 出資比率引き上げ (4%⇒15%)、開発・販売要員派遣
  - デイラー網の再構築に向けSMLいすゞに専任部隊設置

### LCV事業

- 低コストLCV・新興国商品投入 (新規参入)
- いすゞ主導での製造拠点、販売ネット構築
  - ☑ '12/8 いすゞモーターズインディア設立 (チェンナイ市)
- 低コスト部品・商品の輸出を通じ、新興国向けCV・LCV事業を下支え



インド専用商品

## 既存市場での安定ポジション確保

### 中近東

- ☑ '11/6 いすゞサウジアラビア設立、'12年内KD組立工場立上げ
- ☑ '12年 いすゞミドルイースト(アフターセールスセンター)のテリトリー拡大 (東アフリカ)

### CIS・豪州

- ☑ ロシア事業再強化着手：ソラーズいすゞへの出資比率引き上げ (29%⇒45%)
- ☑ 豪州DB子会社の部品事業強化 (オセアニア地域のハブ拠点化)

### 南米・アフリカ

- いすゞ関与度拡大
  - 南米CV販売事業、南アフリカCV生販事業



サウジアラビアKD組立工場

## 中計推進に向けて

### 中計策定時の環境認識

- 国際経済：先進国の景気低迷継続
- 競争環境：中・韓・印メーカーの台頭
- 商品技術：顧客要求商品レンジ拡大  
環境対応コスト大幅上昇
- 国内事業：輸送業界の事業環境悪化
- サプライチェーンの日本一極集中リスク

### 中計策定時からの変化点

- 国際経済の不透明感増大
  - 中印景気の減速、欧州債務危機
- 環境意識の高まり、燃料多様化進展
- 日本の生産立地条件の更なる悪化
  - 製造業六重苦(円高継続/電力制約等)

中計施策の着実な実行

+

高効率DE開発と将来技術への取組み加速

# 取締役専務執行役員

## 企画・財務部門統括

Director of the Board, and Managing Executive Officer, Corporate  
Planning and Financial

# 佐々木 敏夫

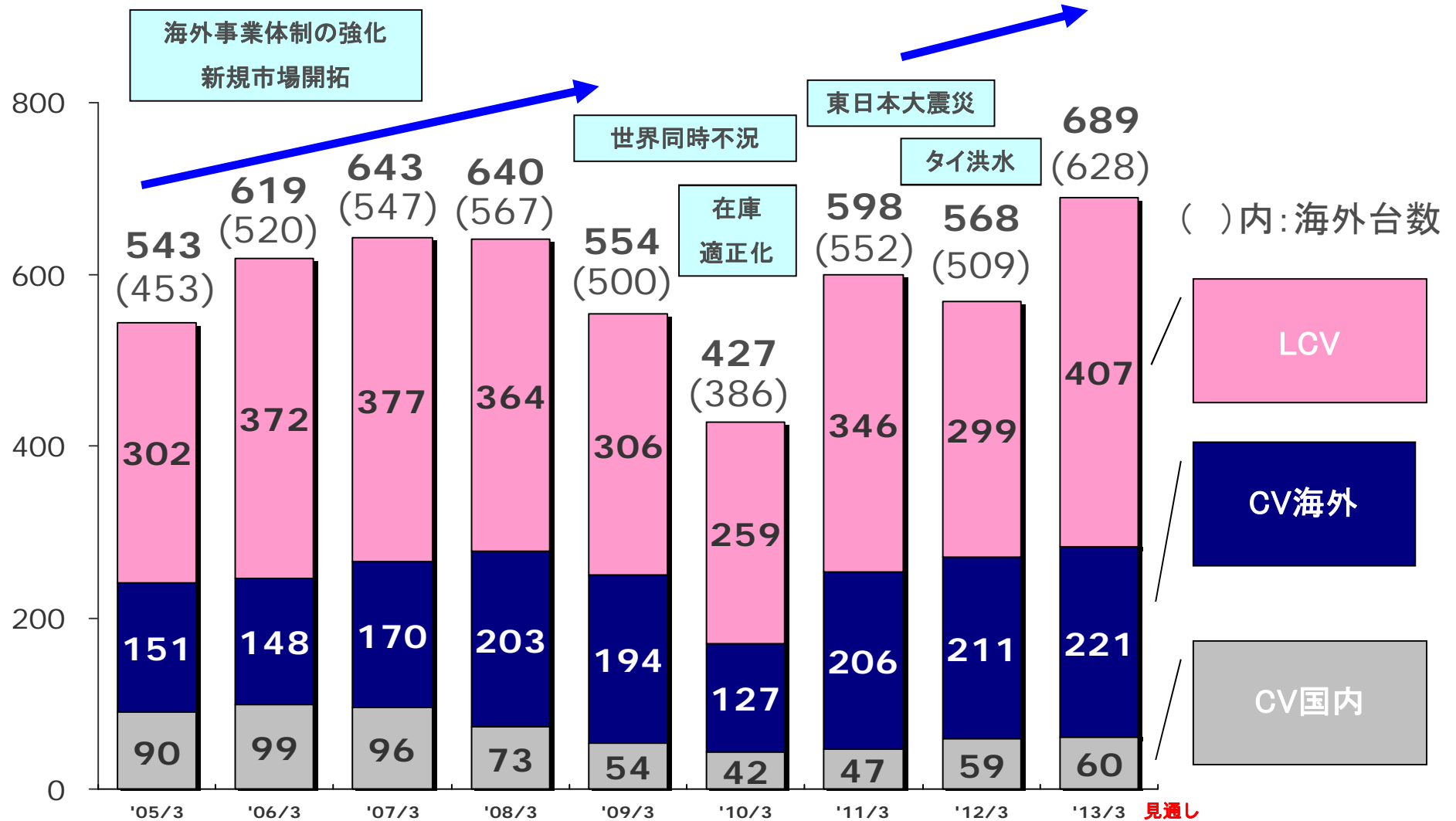
Toshio Sasaki

## Ⅱ-1. 事業状況

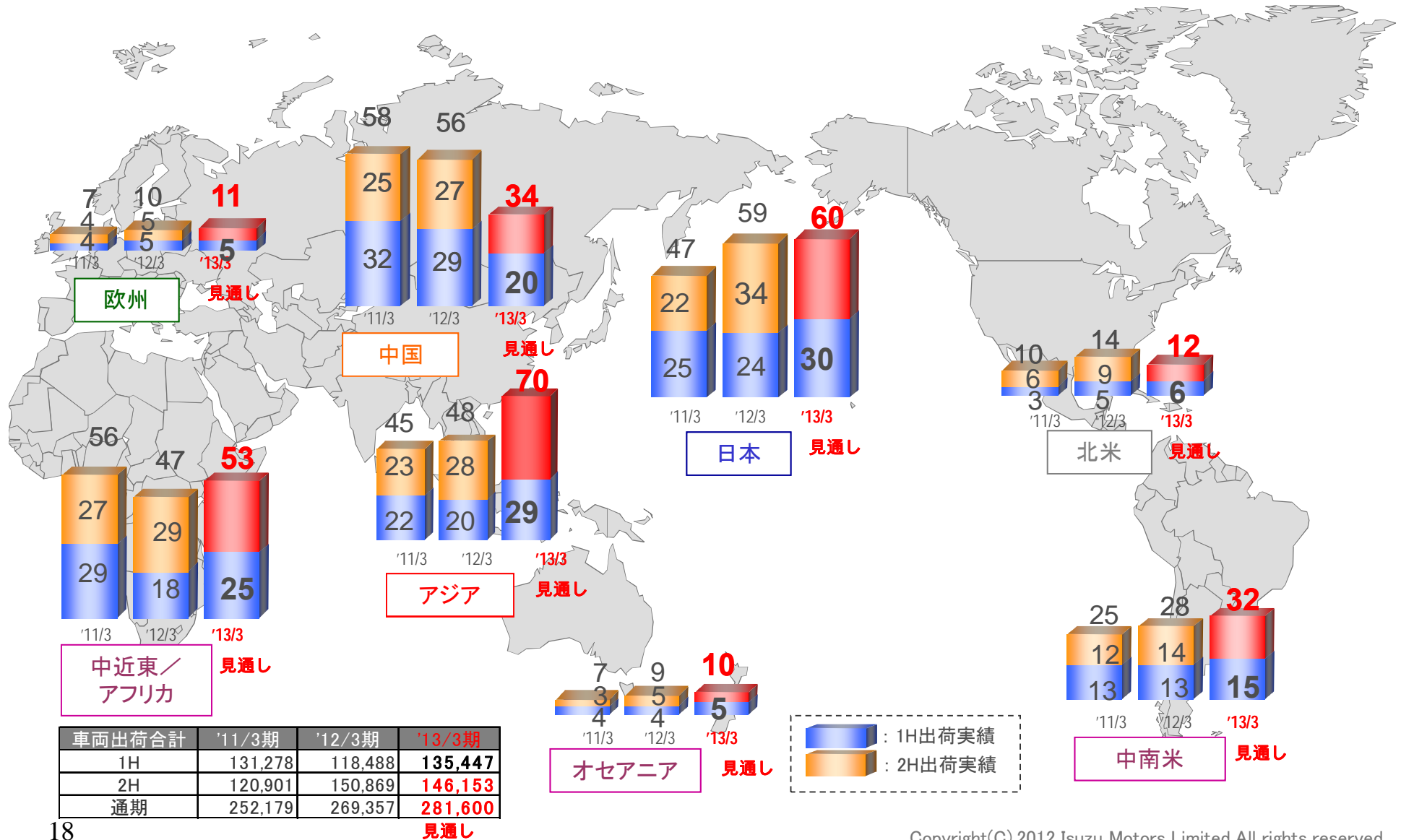


## CV/LCV出荷台数推移

- 完成車およびKDセット他:千台 -



## CV 地域別出荷推移 - 完成車およびKDセット他:千台 -





## 国内全需・シェア① - 普通トラック(4トン超) -

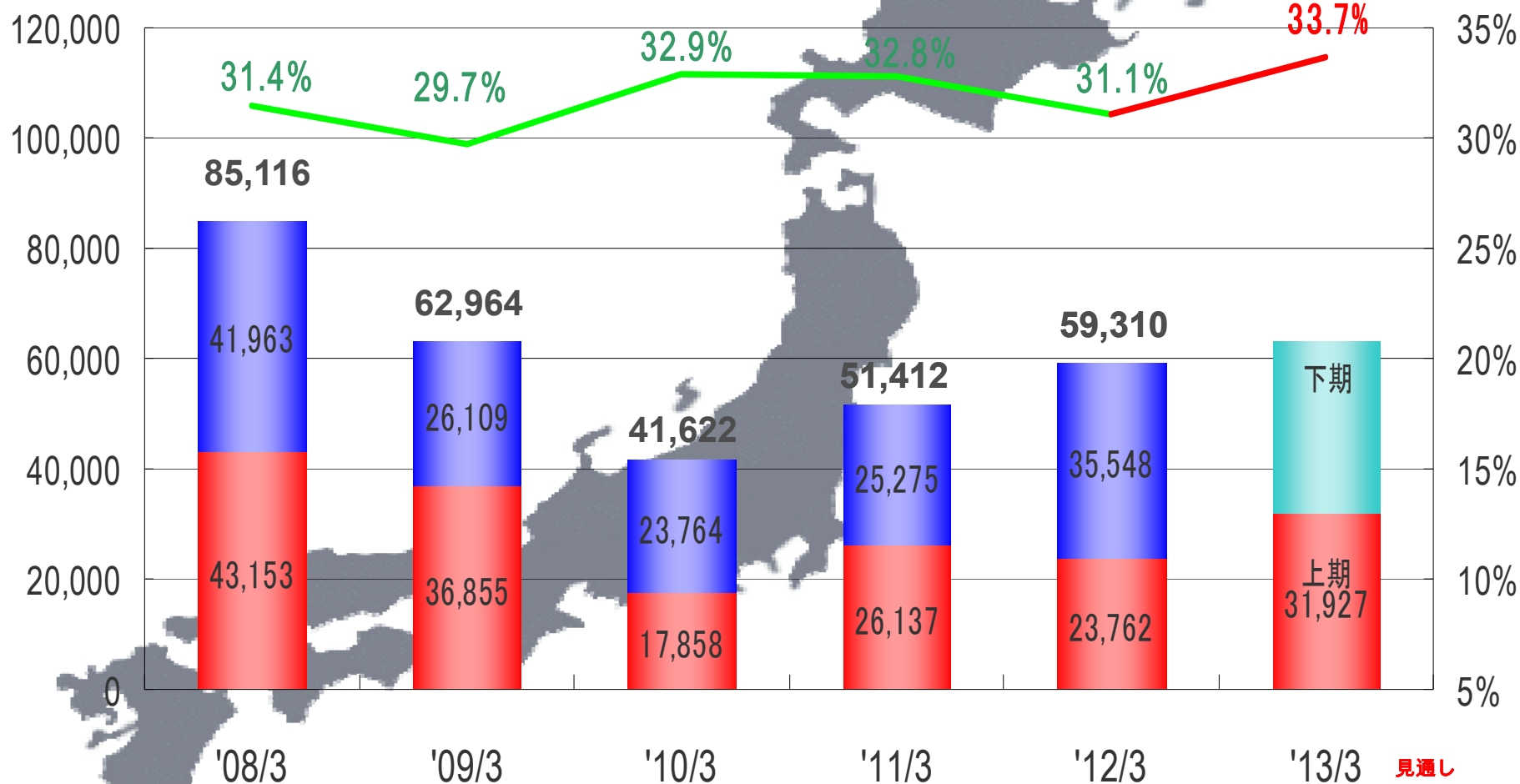
(台数)

※折線'08/3~'12/3は、いすゞ通期シェア実績

'13/3は上期シェア実績

(シェア)

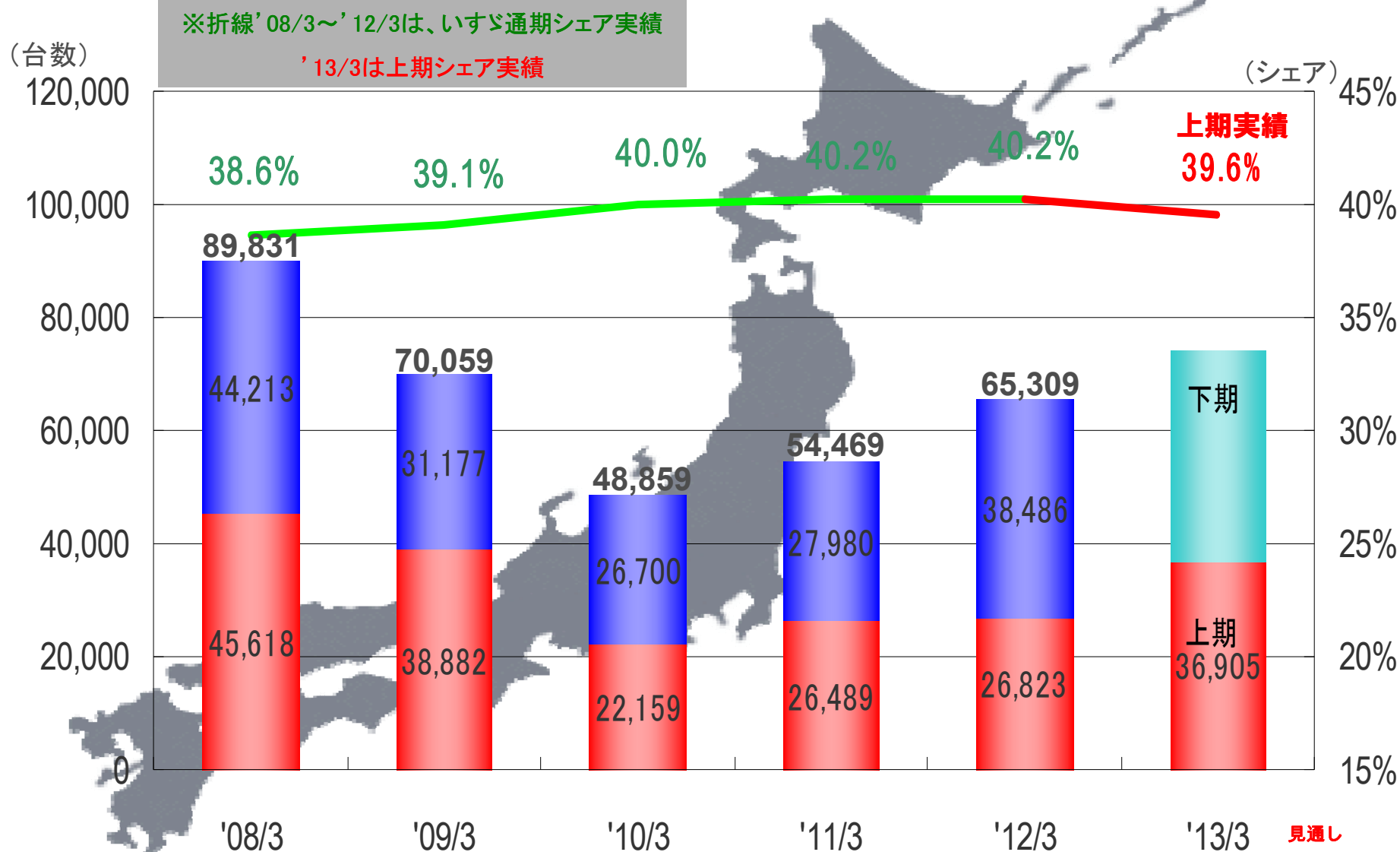
上期実績  
33.7%





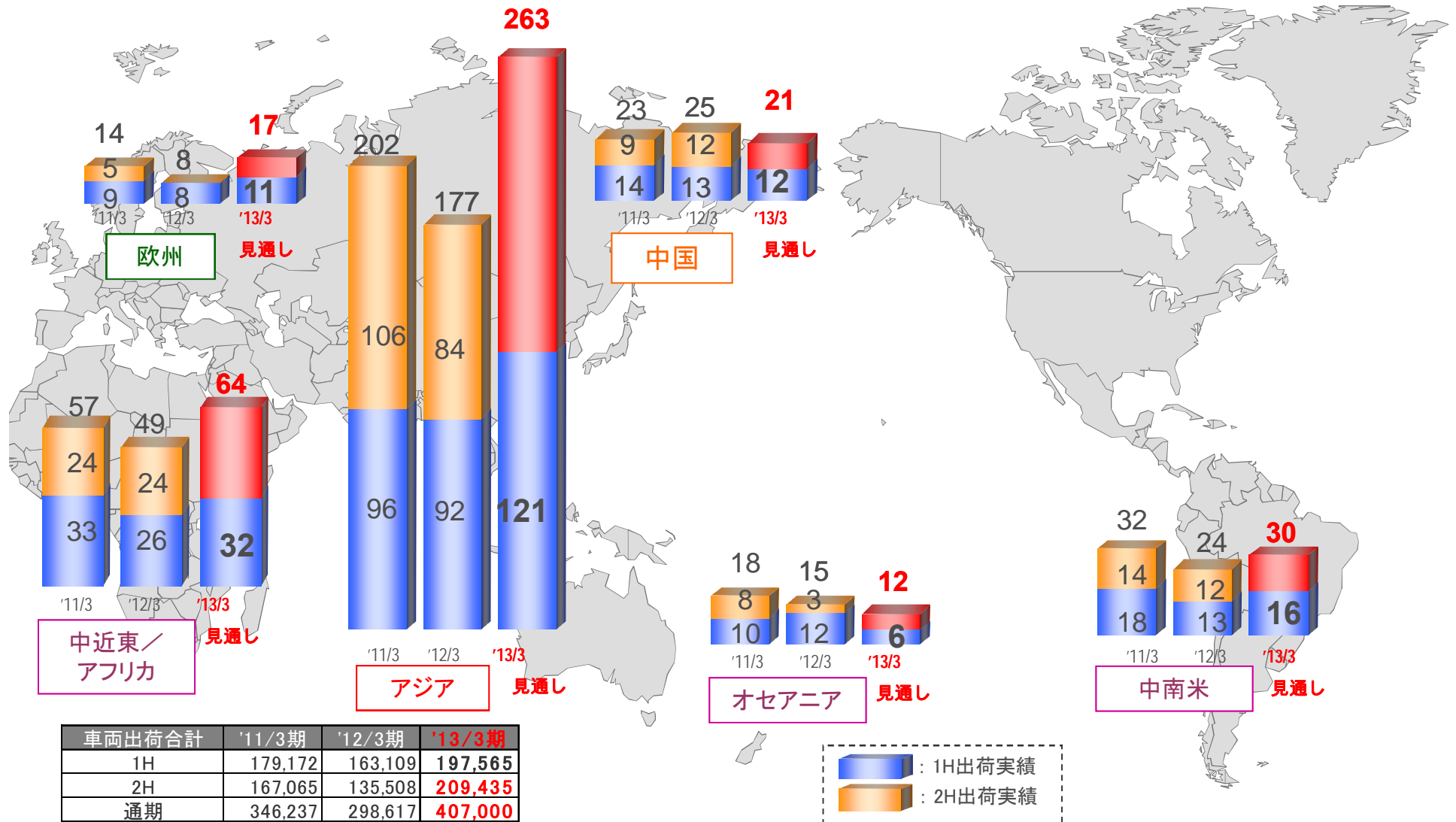
## 国内全需・シェア②

－ 小型トラック(2－3トン) －



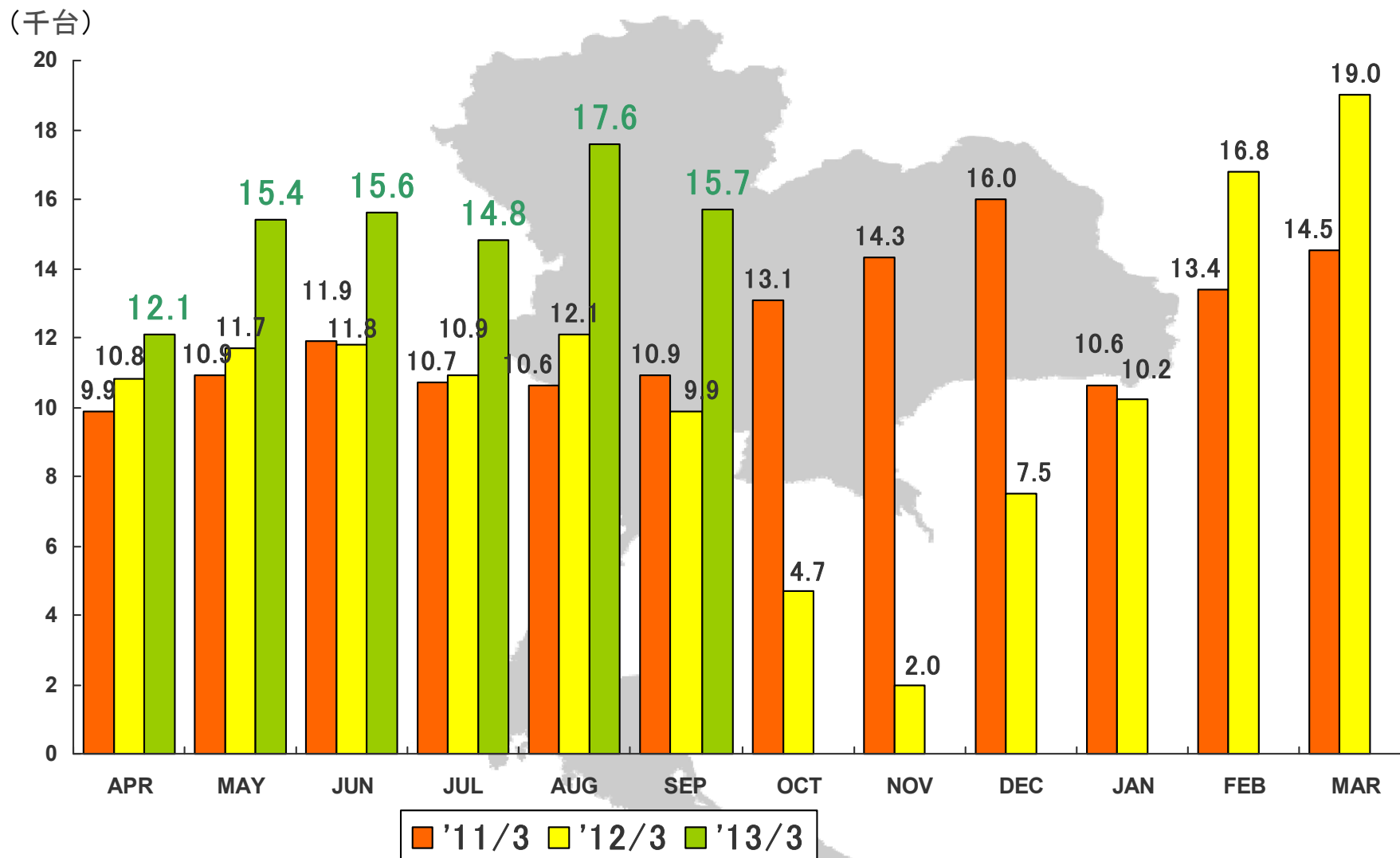
## LCV 地域別出荷推移

- 完成車およびKDセット他:千台 -



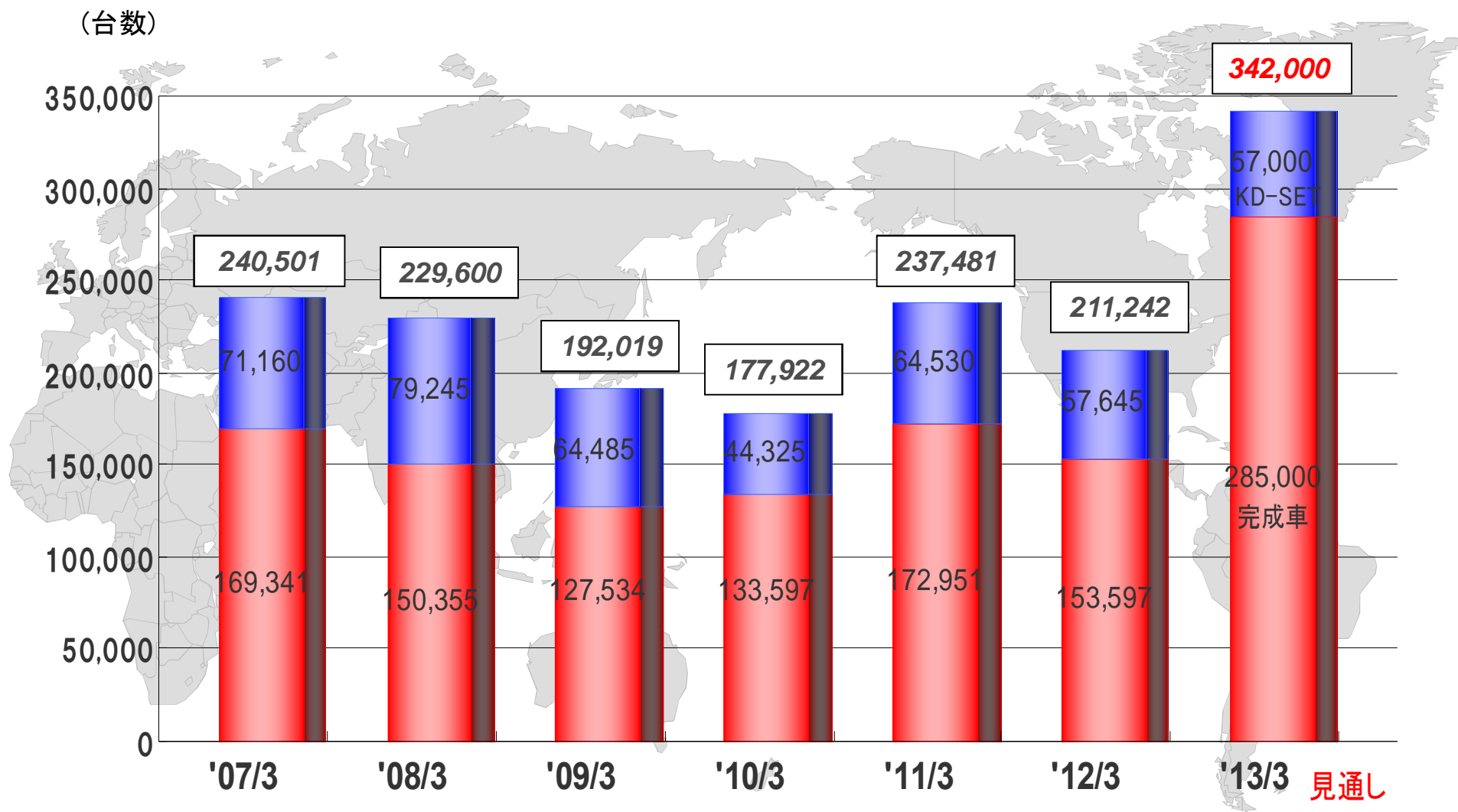


## タイ販売推移 -ピックアップトラック販売-



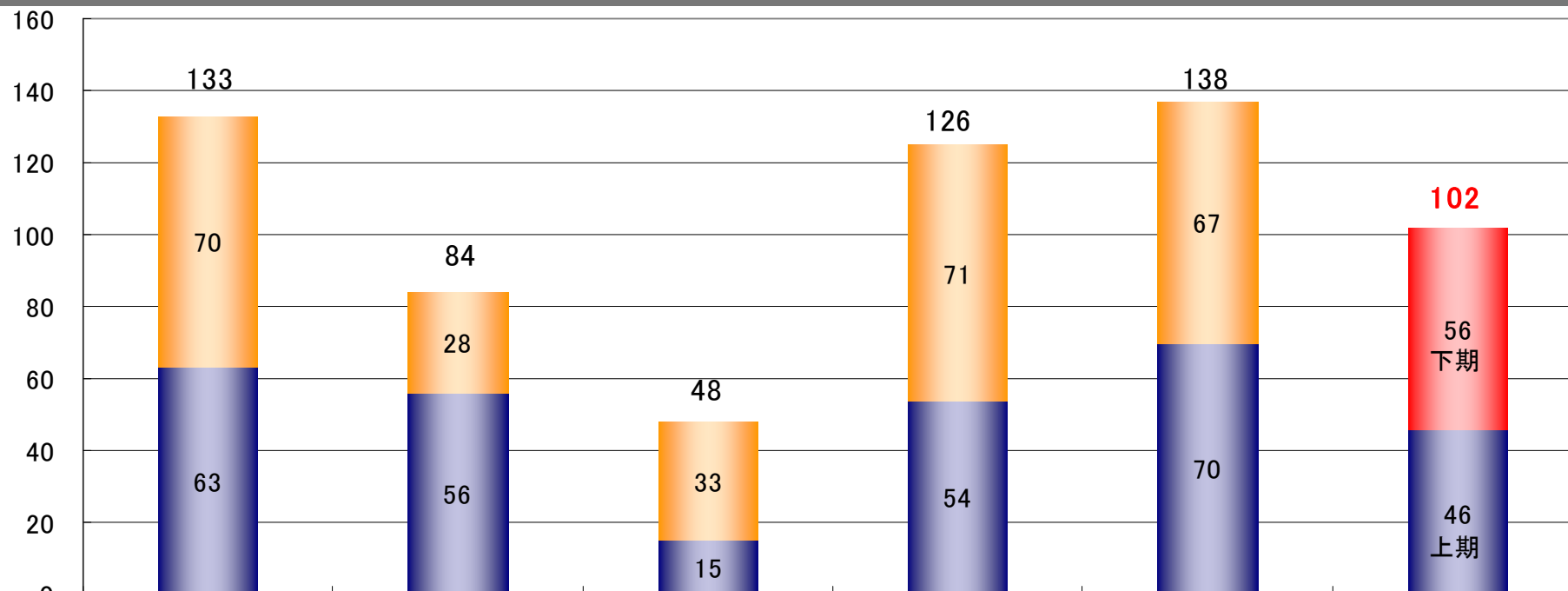


## タイいすゞLCV生産台数推移 - 完成車、KDセット -



## 産業用エンジン出荷推移

- 出荷台数:千台 -



'08/3

'09/3

'10/3

'11/3

'12/3

'13/3 見通し

C(IDI) C(DI)

4L

4J

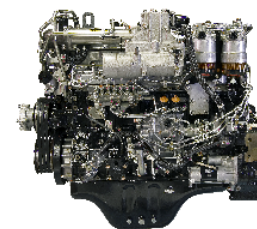
4H

6H

6U

6W

産業用  
エンジン



~1.1

1.6

2.2

2.4

3.0

5.2

7.8

9.8

15.7

ℓ



## Ⅱ-2. 2013年3月期 第2四半期累計実績

## '13年3月期 第2四半期累計実績(連結)

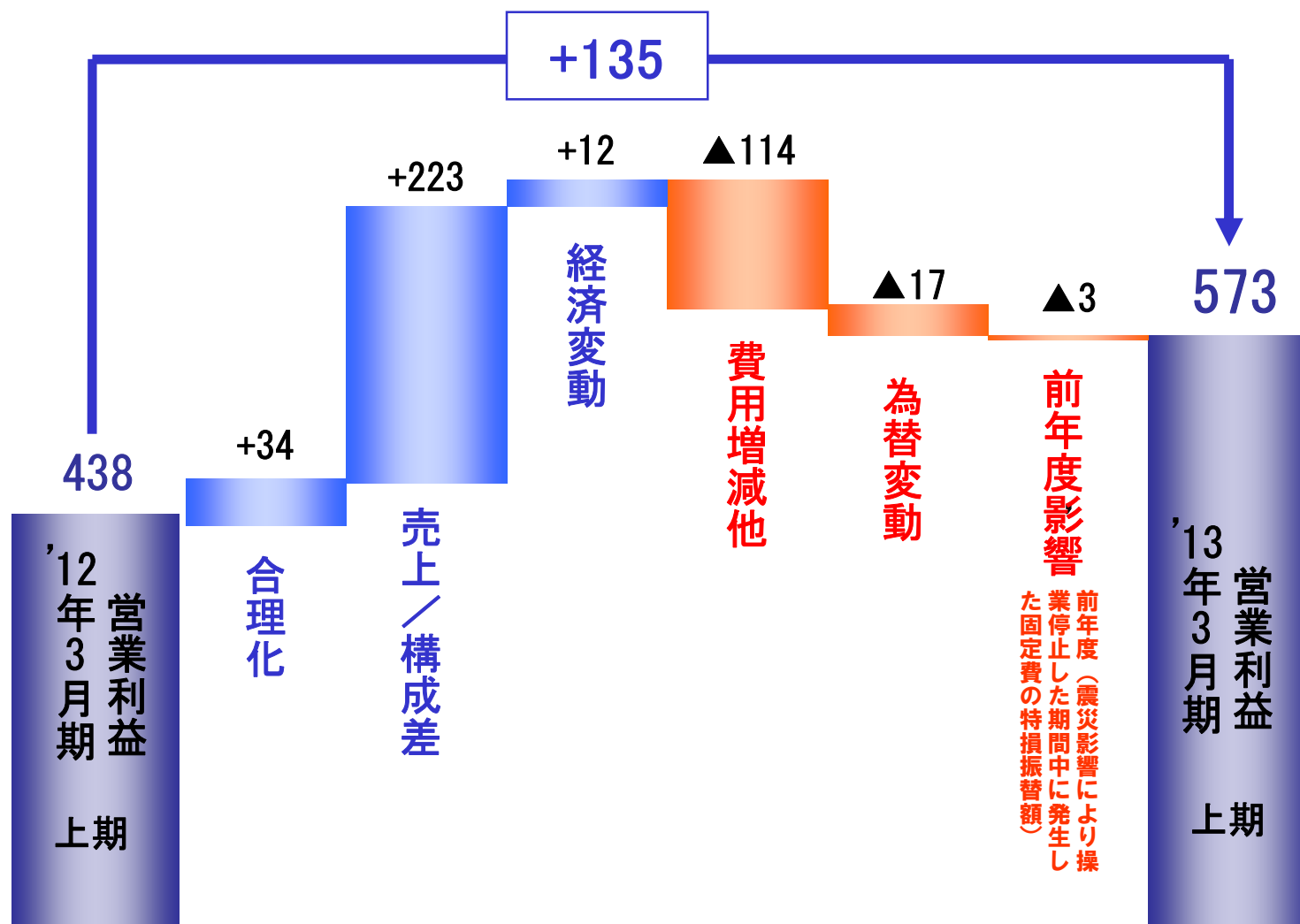
- 前年同期比較 -

( 億円 )	'13/3 上期	'12/3 上期	対前年比 増減	<参考>
				'13/3-上期 計画
売上高	7,801	6,581	+1,220	7,900
営業利益	573	438	+135	500
経常利益	604	451	+153	520
当期利益	421	337	+84	350

※為替実績: '13/3-上期 = 80円/\$  
'12/3-上期 = 81円/\$

## '13年3月期 第2四半期累計 連結営業利益実績 増減分析

- 対前年同期比較(億円) -



## '13年3月期 第2四半期累計実績(連結)

- 経常/当期 利益分析 -

( 億円 )	'13/3-上期	'12/3-上期	増減
売上高	7,801	6,581	+1,220
営業利益	573	438	+135
経常利益	604	451	+153
当期利益	421	337	+84

経常利益	営業利益増減	+135
	◆ 持分法損益	+19
	◆ 金融収支/為替差損益他	▲1
	合計	+153
特別損益他	経常利益	604
	◆ 固定資産処分損他	▲8
	◆ 法人税等/少数株主利益	▲175
	当期純利益	421

## Ⅱ-3. 2013年3月期 通期見通し

## '13年3月期 業績見通し(連結)

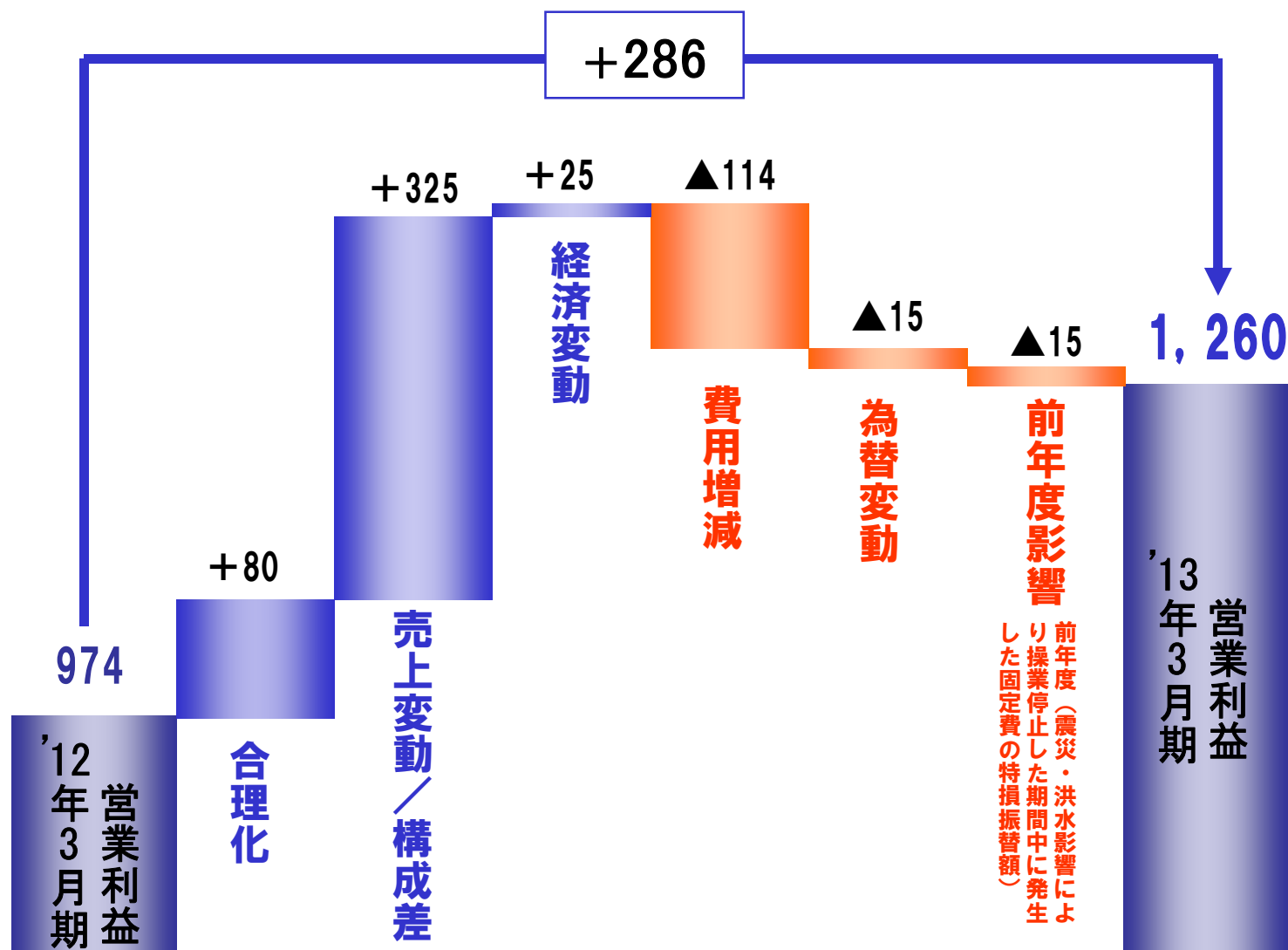
－ 前年同期比較 －

( 億円 )	'13/3期 見通し	'12/3期	対前年比 増減	<参考>
				13/3期 前回計画
売上高	16,300	14,001	+2,299	16,300
営業利益	1,260	974	+286	1,230
経常利益	1,330	1,029	+301	1,270
当期利益	910	913	▲ 3	810

※為替前提： '13年3月期 = 80円/\$  
'12年3月期 = 79円/\$

## '13年3月期 連結営業利益見通し 増減分析

- 対前年同期比較(億円) -



## '13年3月期 業績見通し(連結)

- 経常/当期 利益分析 -

( 億円 )	'13/3期	'12/3期	増減
売上高	16,300	14,001	+2,299
営業利益	1,260	974	+286
<b>経常利益</b>	<b>1,330</b>	<b>1,029</b>	<b>+301</b>
<b>当期利益</b>	<b>910</b>	<b>913</b>	<b>▲3</b>

経常利益

営業利益増減	+286
◆ 持分法損益	+40
◆ 金融収支/為替差損益他	▲25
合計	+301

特別損益他

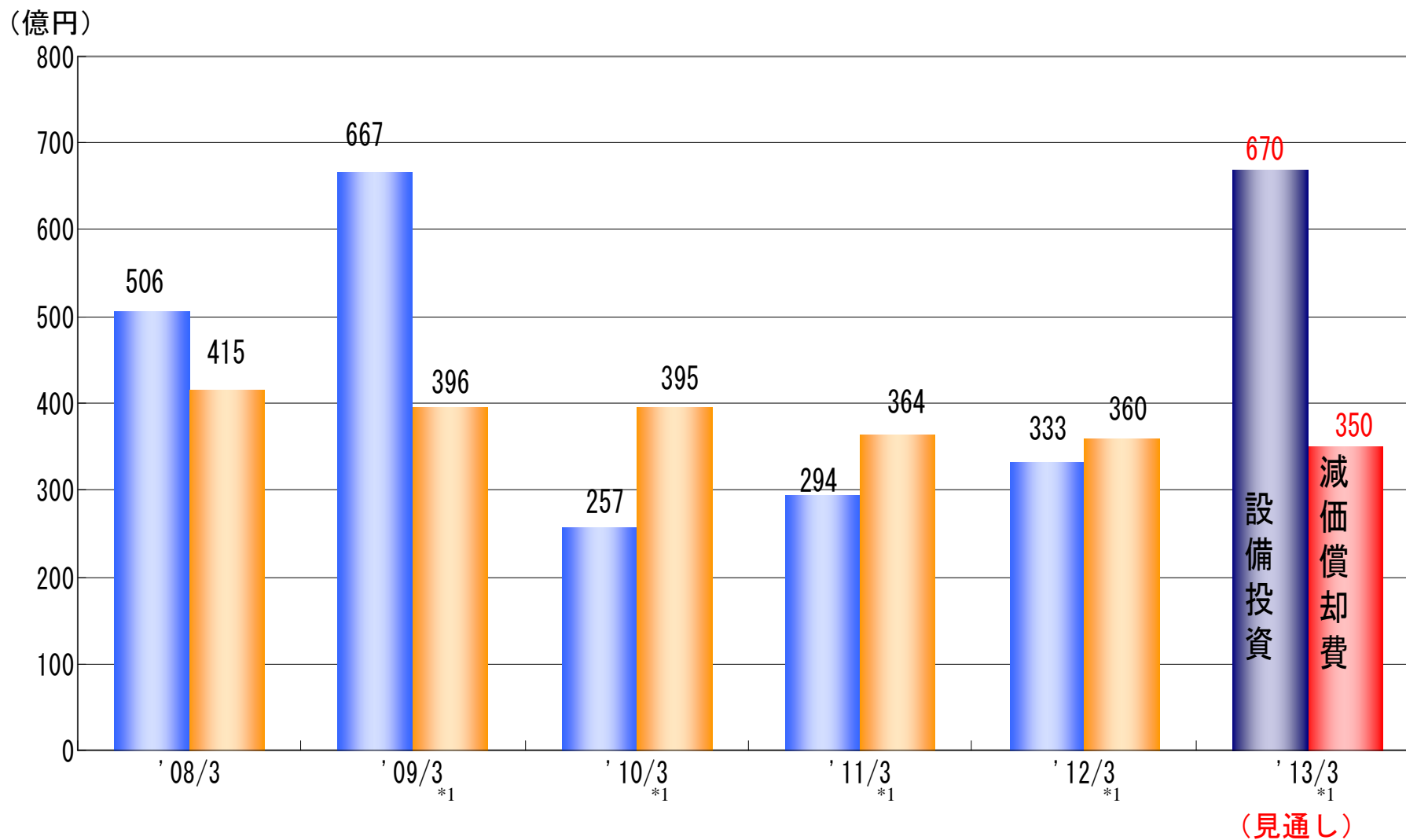
経常利益	1,330
◆ 固定資産処分損等	▲5
◆ 法人税等/少数株主利益	▲415
当期利益	910



# 【付表】

主要事業指標 半期推移等

## 設備投資・減価償却費推移 (連結)



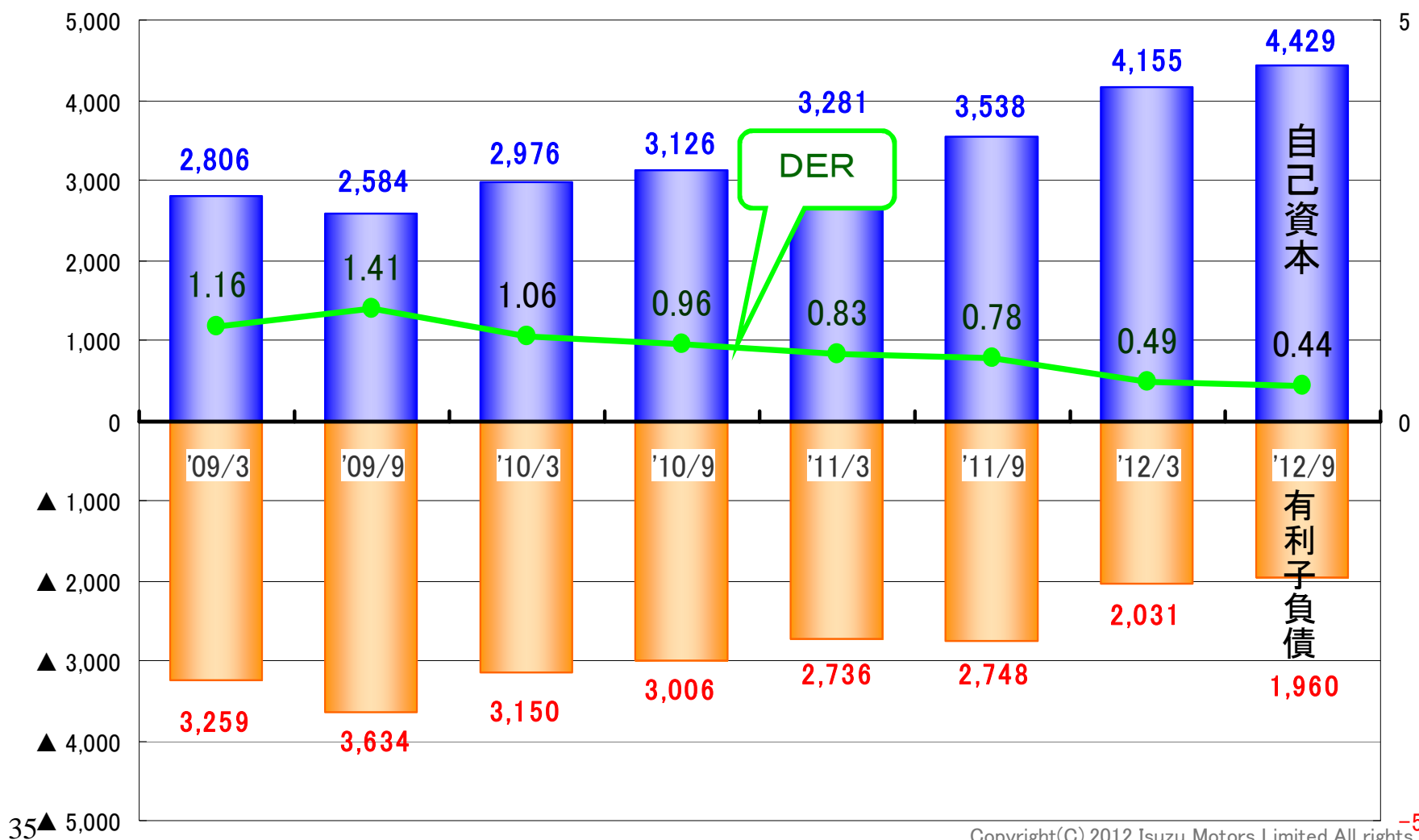
\*1'09/3期以降はリース分を含む

## 有利子負債・自己資本推移(連結)

※ 自己資本=(純資産-少持分)

(億円)

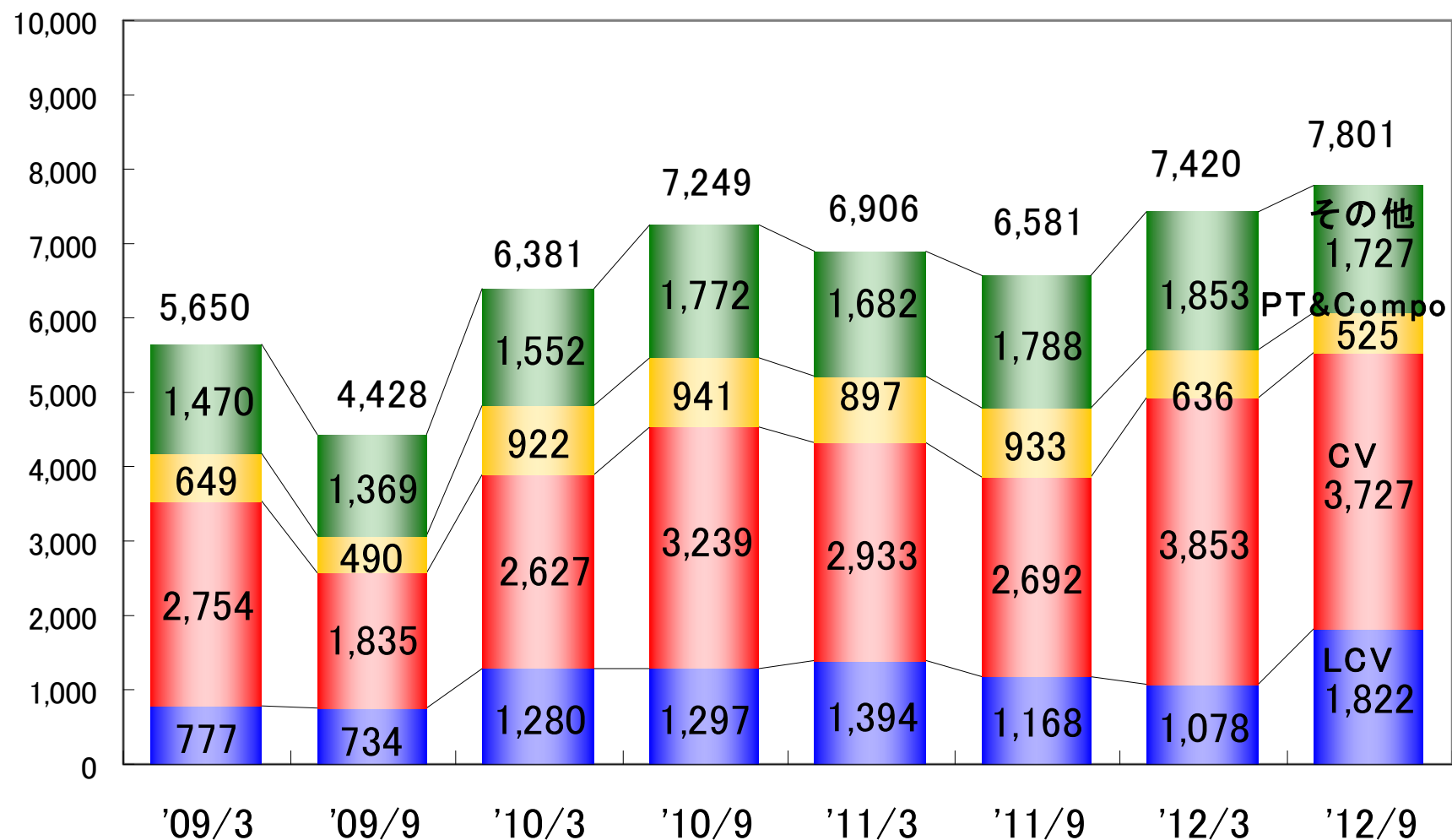
(DER)



## 事業別連結売上高 半期推移

－ LCV、CV、PT&Compo.、その他(KDセット、部品等) －

(億円)

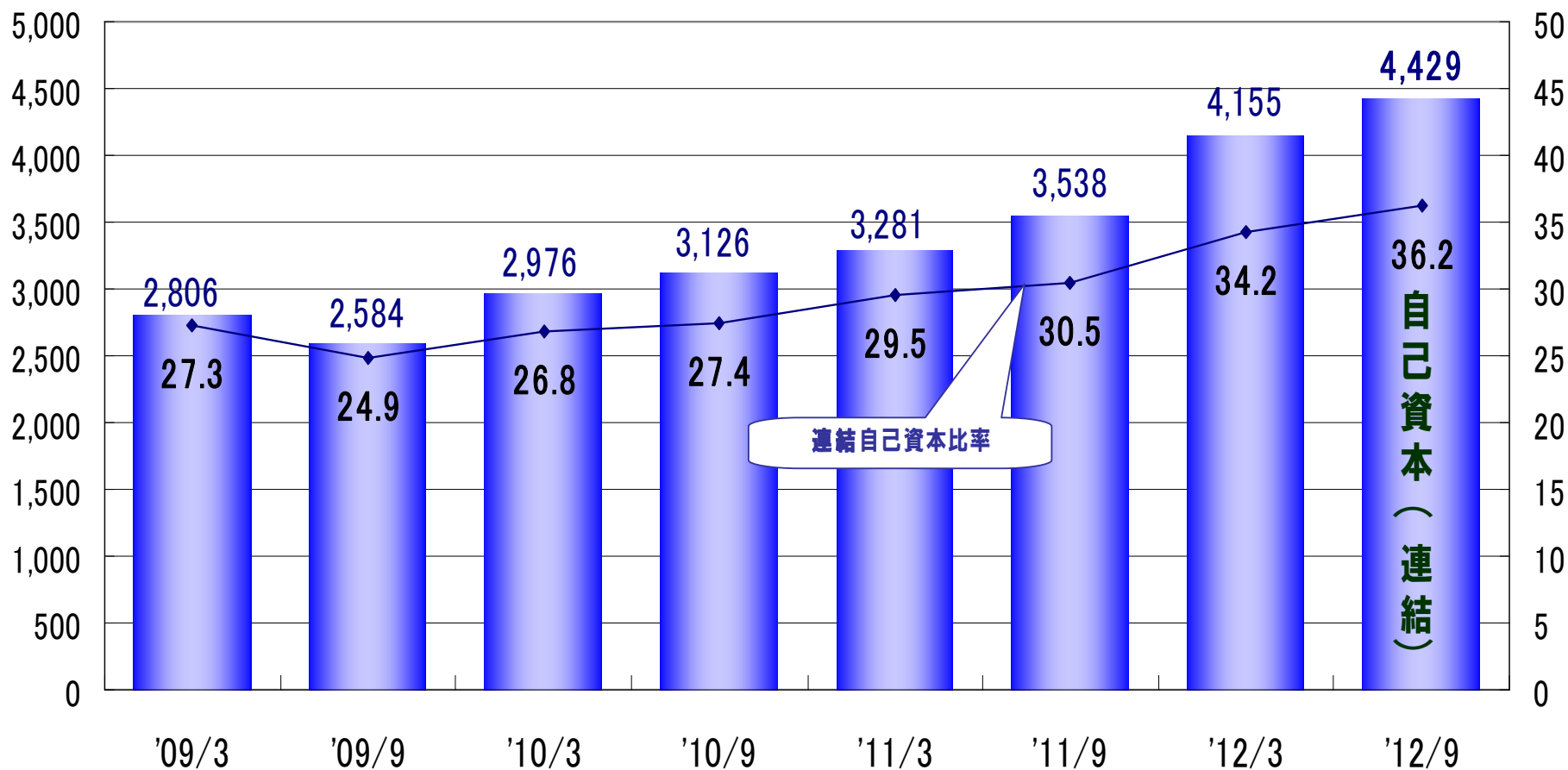


## 自己資本比率 半期推移

※ 自己資本 = (純資産 - 少持分)

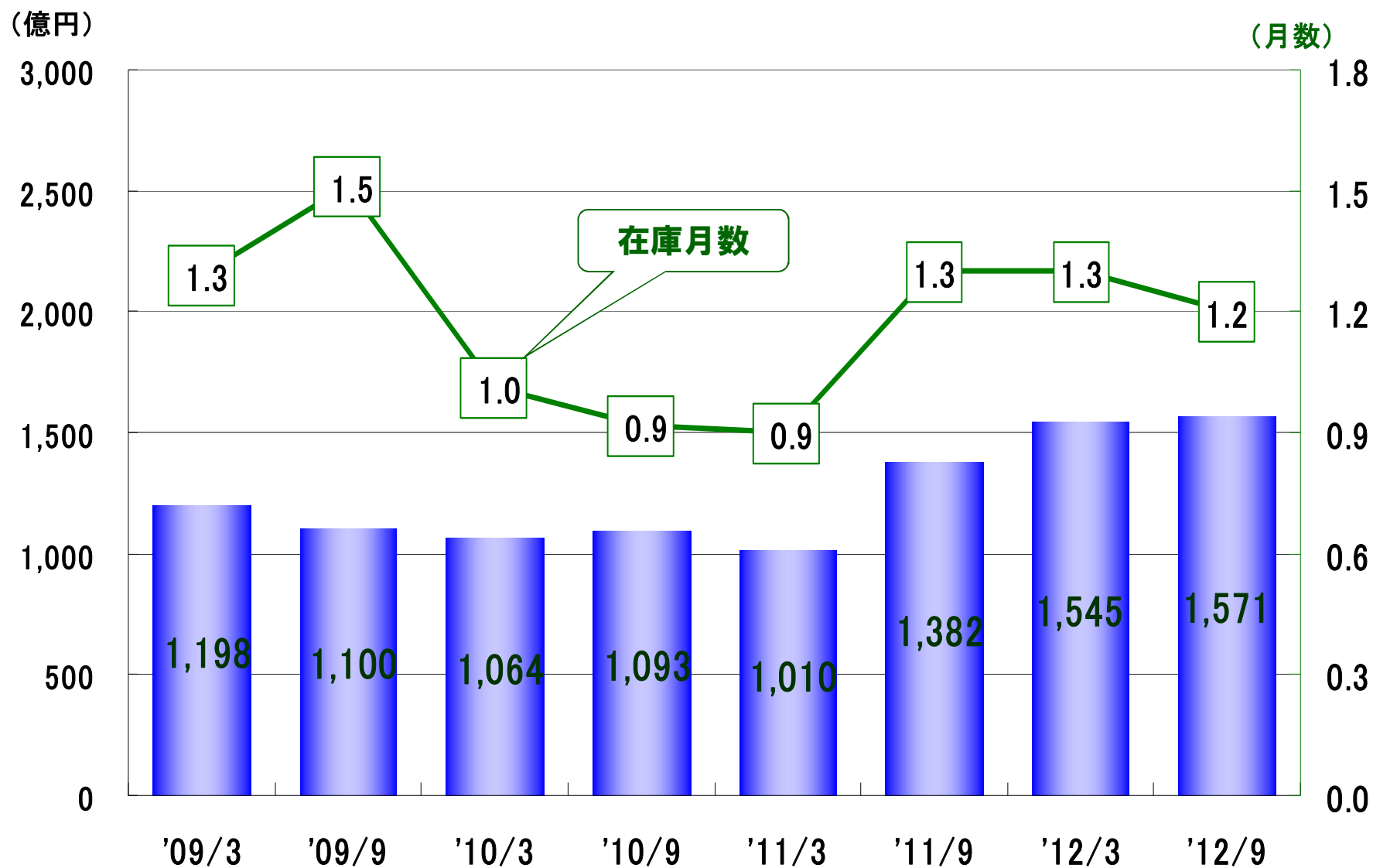
(億円)

(%)



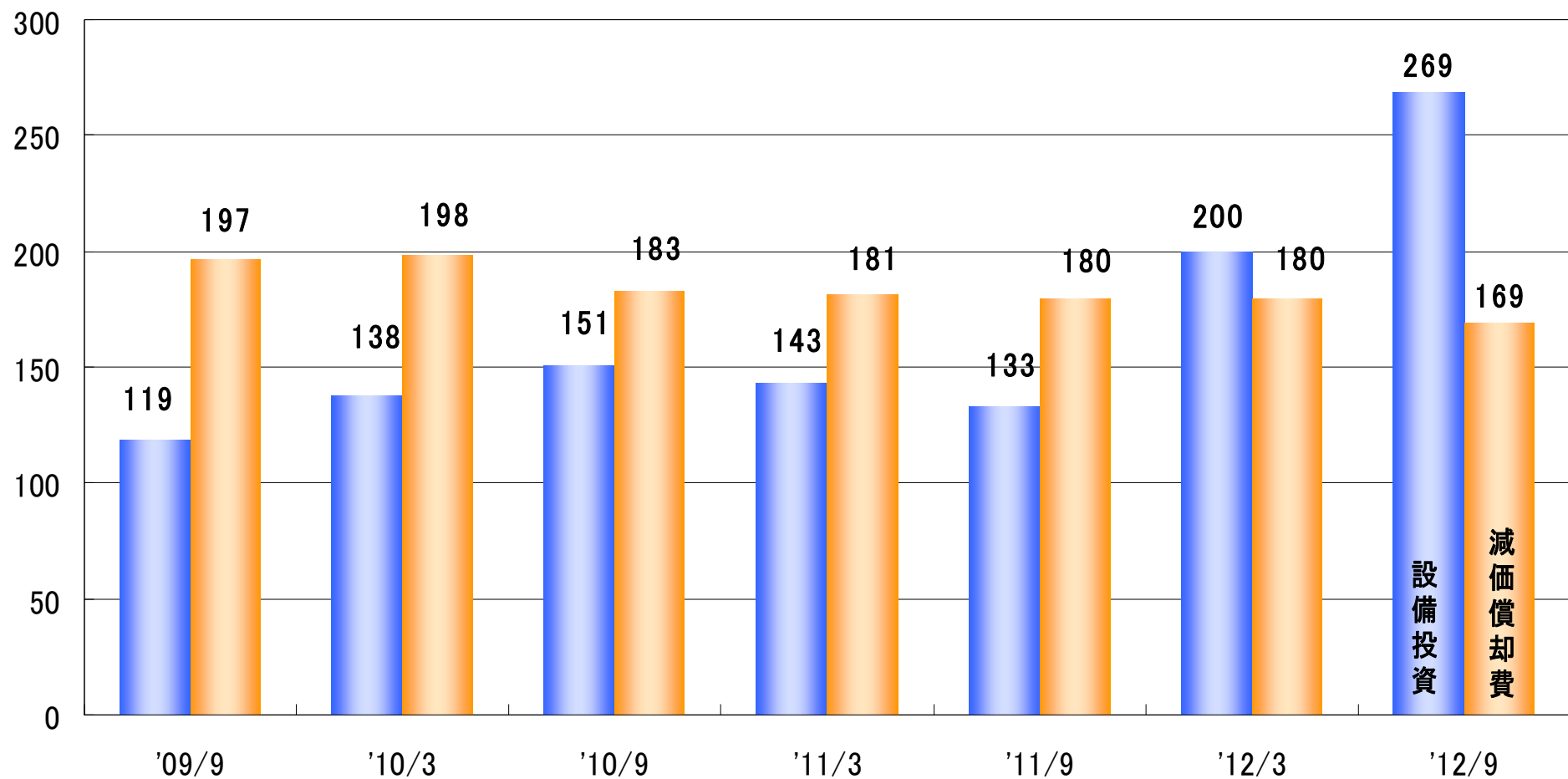
## 在庫金額 推移

- 半期連結総在庫 -



## 設備投資・減価償却費推移半期毎(連結)

(億円)



「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

**ISUZU**